

---

**S 氏の電磁波障害**

---

患者：S 氏(Kさんの紹介)(38 歳)

観察：目のクマ、年にあわない低めのかれた声、力の無いほお筋、一見して体質に及ぶ重症とわかる。

**問診**

肩、頭が気になっている。電磁波障害がひどいといわれた。筋肉は柔らかいのでなにか体質にかかわる治療が必要と紹介された。

波動療法を続けているが、その時は楽になるが、治っていかない。

アレルギー性鼻炎がある。

この治療のあと同行の奥さんとプール、エアロビなどに行く、と。

**治療のポイント**

- ① まず、観察として、指に相当問題があります。これは頭と一緒に有るのでそこからスタートしてみましょう。この問題は根が深くてむつかしいんです。  
指のうち一番ひどいところを選び、示指第二関節→矢状線(矢状縫合)、見事に消えた。左右の指、いくつか、関節も選びながら、同様に。  
アイターの連続であった。
- ② 指先が首、頭と共倒れ状態ですと、斜角筋起始→母指入爪縁、これもまた見事に消えた。この爪上を使うのは重傷とわかっているからです、と。
- ③ 目の周りが黒くなっています。これは体質の悪化に至っている状態です。  
左目の周り押すと、ワーという痛みあり、ほら。  
全身の状態ですと、目周→足の小指入爪縁。「いたくない！」
- ④ 指、首を治療しているうち、おなかが動き出したが、本人にはわからない。  
ほら、と腹を押すと痛い、→足小指入爪縁。
- ⑤ 頭→頭、を数点。(治療途中でも時々頭や目が痛くなった)
- ⑥ 頭から尾底骨までを主に、電磁波除去流し。「ワー！」とのけぞる。  
頭部のロックが外れて脊柱周がほぐれやすい状態なので、反応は強い。
- ⑦ どお、と聞くと、頭、耳上のレベルがぐるっと痛み、動悸を打つようであり、ドクドクするようである、と。側腹をつまむと痛い。これですよ、と足母指先でほぐすと(第一手では効かなくて、母指先の位置と方向を変えて押すとイタターと)、頭は治ってしまった。
- ⑧ さらに、後頭(→仙腸→足指)、仙骨域をほぐす。  
この間、時々立ってもらって足踏みなどのテスト。

**考察**

やはり、指、頭、脊柱の問題であり、電磁波障害のあらわれ方を見た。

目のくま(治したいとおっしゃる)がなくなるまでは相当かかること、重傷であり治療継続が必要、と伝えたのは当然である。